レポート課題のヒント

課題

音楽史(音楽の歴史)について、①バロック時代、②古典派、③ロマン派のそれぞれの時代の音楽の特徴と代表的な作曲家について調べて(2・3下の教科書や可能ならインターネット等を活用)、配布したワークシートにまとめよう。

課題を考える上でのヒント

★バロック時代

ヨーロッパは、絶対王政(王が支配する)の時代であり、作曲家は王や貴族に雇われて作曲活動をした。また、前の時代に引き続き、人々の考え方や生き方に宗教(キリスト教の教会)の影響が強く反映されている時代だった。

よって、この時代の音楽は

○(　　や　　)の好む音楽がつくられた。

○教会で(　　)ための音楽がつくられた。

この時代の音楽の特徴➡ここを深堀してみよう!!

○(　　)がイタリアで生まれた。これは、日本では「関ヶ原の戦い」の頃です。イタリア人は、自身の感情を極めて率直に表現する。コロナで外出禁止令が出ても、アパートのそれぞれの窓からイタリア人が顔を出して歌い合わせる様子がテレビで放映されましたね。王様や貴族などの全面的な援助を受けていたので、物語の最後は王様の偉大さを讃(たた)えて幕が終わるというハッピーエンドでなければならなかった。そういうわけで、物語はどうしても単純になりがちでした。

○「芸能人格付けチェック」で使われるような素晴らしい弦楽器(ストラディヴァリウス等)がつくられるようになった。➡その様な楽器で演奏するための(　　)曲が作曲された。

★古典派

産業革命が起こり、王や貴族以外にも市民の中に豊かな人々が生まれ、彼らが作曲を依頼したり、チケットを買って演奏会に行きはじめたり、楽譜を買って音楽を楽しんだりするようになった。これにより、作曲家が自分の意志による曲をつくりはじめた。また、産業革命により金属の加工技術が発達し、時々誰かの家にあるあの楽器(　　)が生まれ、この楽器のための曲がたくさんつくられた。

この時代の人々の考え方は、それまでヨーロッパでは当たり前だった「宗教的、非科学的な発想」をやめて、**「統計や理論に基づいた、合理的で科学的な考え」**が良いとされるようになった。これは、「人間は、神や王といったどんなに強い権威からも解放され、自分自身の発想を大切にし、自分で考えて生きていくべきだ」という意味。

この時代の音楽の特徴

(　　)形式やオーケストラで演奏する(　　)曲が発達した。

★ロマン派

○イタリアやドイツを中心に発展した音楽が、世界の様々な国や地域でそれぞれの独自性をもったものになっていく。(戦争に負け、母国語を話すことさえ禁じられた国の人々が、音楽で母国愛をあらわす等)

○古典派で完成した「合理的、規則的」な音楽(**形式にこだわる音楽**)が窮屈(きゅうくつ)に。➡「理想」「感性」「夢」といった本来人間が備えている**個人の心の内面を形式にとらわれず、自由に表現する時代**になっていった。